

利府町文化複合施設整備計画書（概要版）

1. 利府町文化複合施設の整備の目的

文化複合施設の整備については、上位計画や住民等のニーズを踏まえた課題からも、文化・芸術・図書館・生涯学習等活動にかかる住民や住民活動団体の主体的な活動の活性化や、新たな活動の活性化、町全体の元気づくりなどの大きな効果が期待されています。

加えて、東日本大震災では、希薄化しつつあった地域コミュニティや連帯感の重要性を改めて認識することとなりました。今後は、文化芸術活動や生涯学習活動などを通じ人との絆、地域との絆を強化するとともに、将来の環境変化に強い人材を育成し、豊かな住民の暮らしや町の活力を一層育んでいくことが重要となってきています。

このため、文化・芸術、図書館・生涯学習などの機能が複合化することによる特色を最大限に活かし、新たな出会いや感動や喜びが集まり、本町の大きな魅力として夢や元気を発信していくような拠点施設の実現を目指していきます。

2. 基本理念及び目指すべき方向性

- 基本方針

 - 住民活動を支援する「利用しやすい場」づくり
 - 新たな発見・喜びを育む「文化や個性発信の場」づくり
 - 住民とともに成長する「住民主体の活動拠点」づくり
 - 環境の変化に適切に対応可能な「柔軟に発展する拠点」づくり
 - 周辺施設との連携による「一体的かつ賑わいあふれる交流拠点」づくり
- 重視する考え方

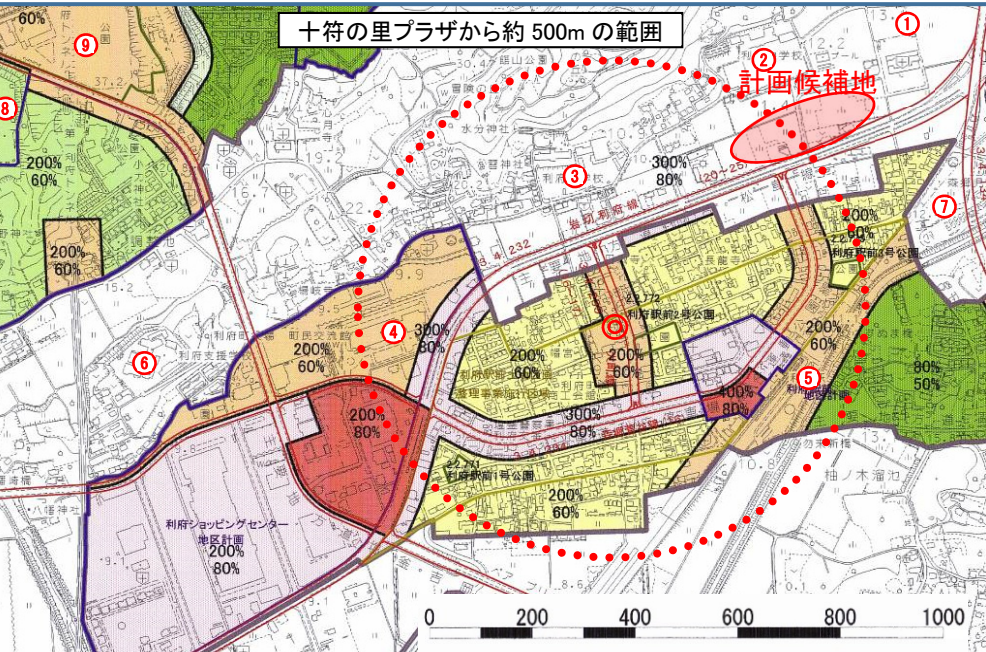
 - 文化ホール機能の希求
 - 町の特性である高い図書館利用率を活かした、より一層町の活力を育む拠点づくりの必要性
 - 公民館・生涯学習活動等を一層支援する拠点形成の期待
 - 町の復興、更なる飛躍につながるシンボルとなる、誇りの持てる拠点形成への期待
- 機能構成の方向性

「収容力の高い文化ホール」と「図書館」機能の中核に据え、それらを中心に、文化・芸術・生涯学習活動に関する「紹介・発表」や「学習・体験」が行え、そうした「発見・感動」を期待する人々で日常的に賑わうような、集客性の高い拠点形成を図る

3. 計画地周辺の概要

■周辺の主な施設と現況

十符の里プラザから約 500m の範囲



①宮城利府済済会病院
②利府町立利府中学校
③利府町立利府小学校
④利府町役場
⑤JR 利府駅
⑥宮城県立利府支援学校
⑦利府自動車学校
⑧宮城県利府高等学校
⑨利府町中央公園
◎十符の里プラザ

○土地利用

- ・計画候補地の約 7 割が農地である
- ・利府街道沿いには、飲食店やガソリンスタンド等、地区内には学校や病院のほか、数棟の住居が立地している

○自然状況

- ・計画候補地は水田雑草群落であり、周辺はスギ・ヒノキ・サワラ等の針葉樹林が多く自生している
- ・背後地である館山の利府城跡は桜の名所となっている

○地質状況

- ・地質は、礫・砂・粘土層及び安山岩質岩石層がみられる
- ・現状が水田であることなどから粘性土層が存在する可能性が大きいと想定される
- ・基盤岩表面到達深度を見ると、10m未満の深度にて支持地盤へ到達することが想定される

○都市計画

- ・市街化調整区域内である
- ・周辺の市街化区域の用途は、第一種住居地域、第二種住居地域、近隣商業地域に区分される
- ・建ぺい率 70%、容積率 200%である

○周辺道路状況

- ・町道太子堂 1 号線を除き、他の道路にはすべて歩道が整備されている
- ・車道幅員は、利府中学校線、利府中学校前線で 6.0mを超え、2 車線が確保できているが、その他の道路は 1 車線道路となっている
- ・通学路に指定されている道路がある
- ・利府街道の交通量は 4 万台/日程度である
- ・利府街道は都市計画決定されており、将来的に現在の幅員よりも拡幅される
- ・利府街道以外の道路は、病院や学校への移動や住民の日常的な交通に供されている道路と想定される

○供給処理状況

○上水道

- ・計画候補地の一部に塩釜市導水管が敷設されている
- ・計画候補地の北側にある利府配水場より、隣接する利府街道沿いには仙南・仙塩広域水道管が敷設されている
- ・給水管は、宮城利府済済会病院前から利府中学校までの区間にφ400 の給水管が埋設されており、他に利府中学校線内にφ200、塩釜市導水管と並行してφ75 の給水管が埋設されている

○下水道

- ・下水道は、町道太子堂 1 号線から町道利府中学校前線、町道太子堂 2 号線を経由し町道太子堂線へ接続する管路がある
- ・町道利府中学校線には、隣接する住宅からの汚水排水を受けるため短区間だが、汚水管が埋設されている

○ガス管

- ・ガス管は、町道太子堂 1 号線から町道利府中学校前線、町道太子堂 2 号線を経由し利府街道を横断する管路がある

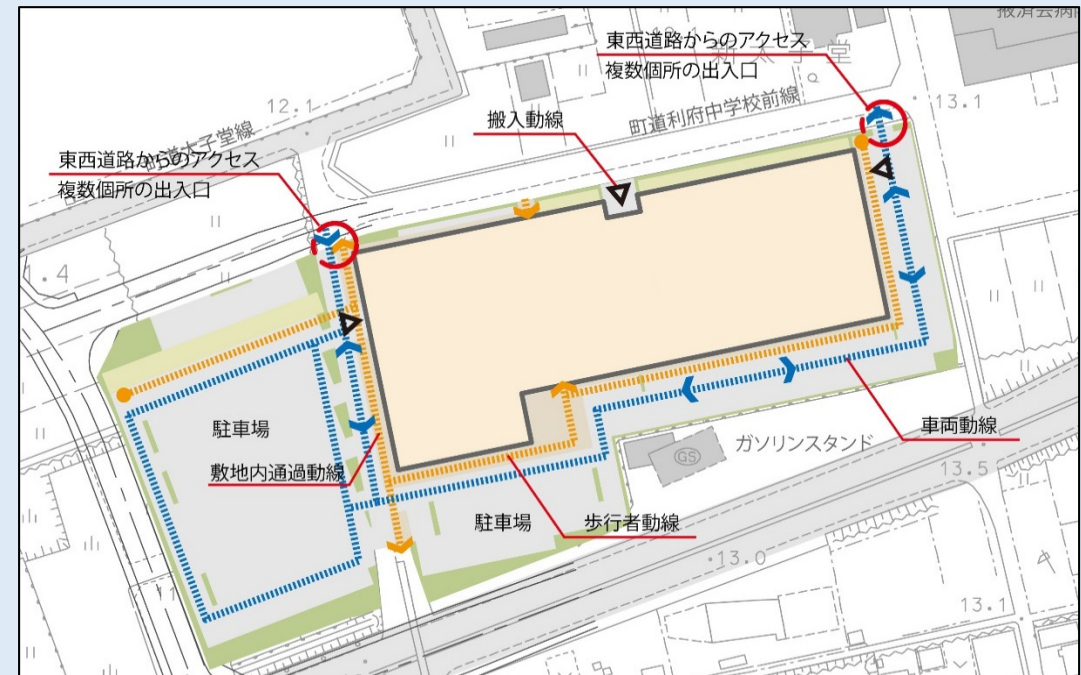


（計画予定地）

4.施設配置計画の検討

■施設配置計画

- 基本方針
- ・東西道路からアクセスさせ、イベント時に発生する利府街道の渋滞を最小限に抑える
 - ・出入口を複数箇所設け、スムーズな入出庫が可能である
 - ・行き止まりをなくした車動線とし、利便性に配慮した計画とする
 - ・イベント終了時の混雑の緩和のための動線を確保する
 - ・歩行者が南北に敷地内を通り抜ける通路を確保し、施設利用者以外に対しても開放的な施設とする
 - ・機能的な車寄せスペースを確保し、各施設空間へ短い動線でアクセスが可能とする



【配置計画図】

■造成計画

- 基本方針
- ・敷地は建築を考慮し、水平な一面として計画とする
 - ・周辺の既存道路や計画道路との整合を図った造成計画とする
 - ・流末高さの確保など、雨水排水処理計画に配慮した造成計画とする
 - ・敷地は周辺道路よりもやや高めに設定し、敷地外から雨水等が敷地内に流入しないよう計画する

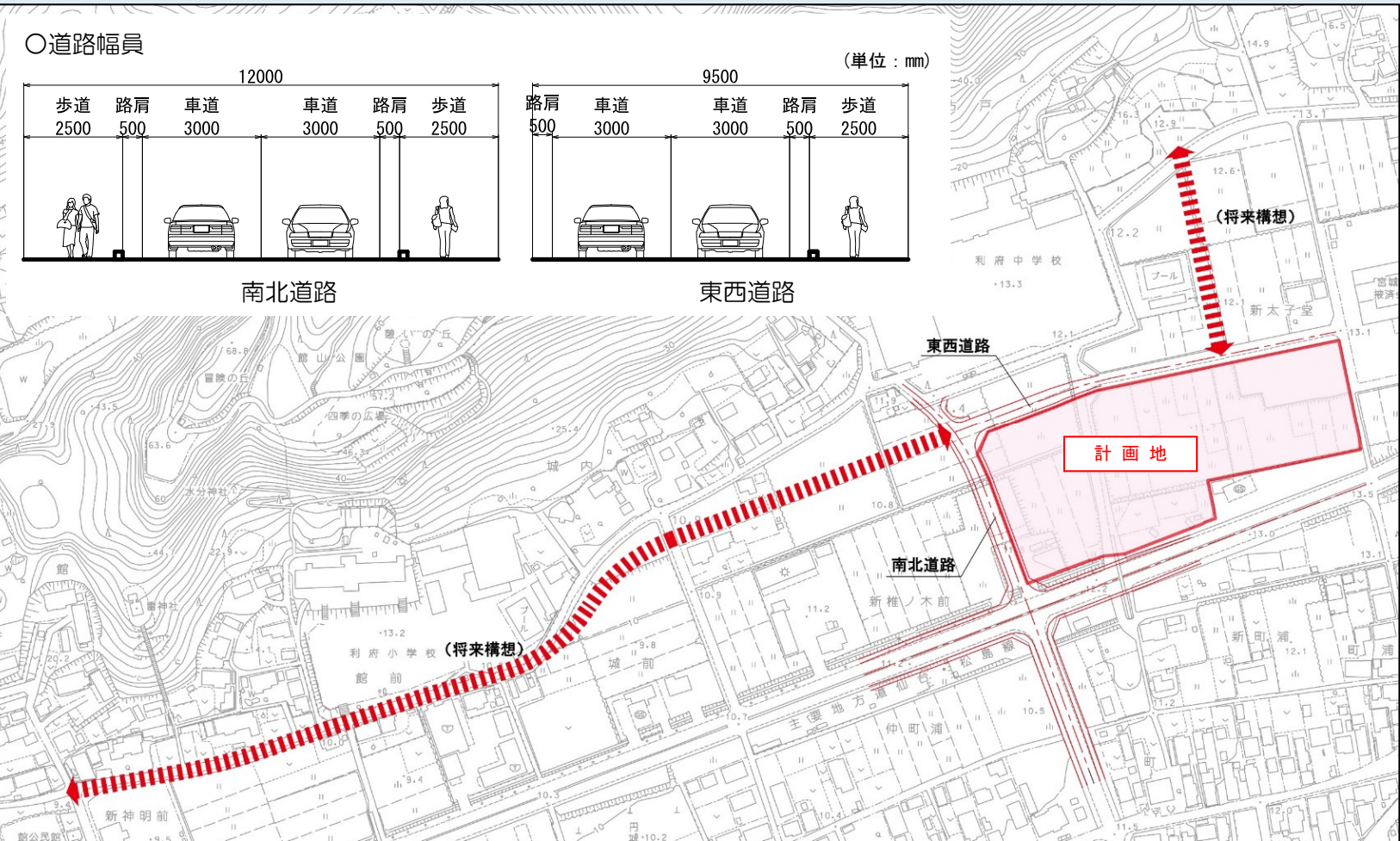
※現況地盤は近接施設（宮城利府掖済会病院）のボーリングデータより、軟弱であることが想定されるため、地盤沈下の影響について検討し、適切な対策を選定する

■調整池計画

- 基本方針
- ・駐車場内へ10cm貯留し、不足する容量については大型側溝を敷地外周部へ設置することで、調節容量を確保する

■周辺道路整備計画の検討

- 整備方針
- ・将来の市街化区域編入を見越し、道路の段階構成に配慮した道路計画とする
 - ・主要地方道仙台松島線（利府街道）へのアクセスを確保する
 - ・複合施設への安全な進入路の整備を行う
 - ・歩行者や自転車が安全に安心して通行できる道路整備とする
- 配置方針
- ・利府街道と各施設を結ぶ南北軸を形成し、施設へのアクセス性を向上させる
 - ・計画候補地北側からのアクセス向上のため、東西軸を形成し、利府街道への交通負荷低減を図る



【道路計画図】

■供給処理計画の検討

- 基本方針
- ・受電は、東北電力配電線路より、三相3線式、6.6kV、50Hz、1回線受電とする
 - ・給水は、給水管より引き込み、受水槽に一旦貯水し、給水加圧ポンプユニットにて必要箇所に供給する
 - ・下水は、町道利府中学校前線の公共下水道に放流する
 - ・ガスは、町道利府中学校前線のガス管（仙台市ガス局）より、敷地内に引き込みを行う

5.施設概略計画の立案（1）

■文化複合施設整備コンセプトの具現化

基本構想時のコンセプト

町民の豊かなライフスタイルの実現を支援する

「生涯学習」「文化・芸術活動」「交流」の拠点づくり

～ 人や笑顔を育むための 学び・ふれあい・自己表現の場づくり ～

“新しい発見や出会い、感動や喜び”を発信する
“夢・交流ステーション”

吸引力のある交流空間

集まる

楽しい

発見

出会い

【空間構成の特徴】

- 施設の中央に各施設とつながりを持つ「共用ホール“アトリウム”」を配置

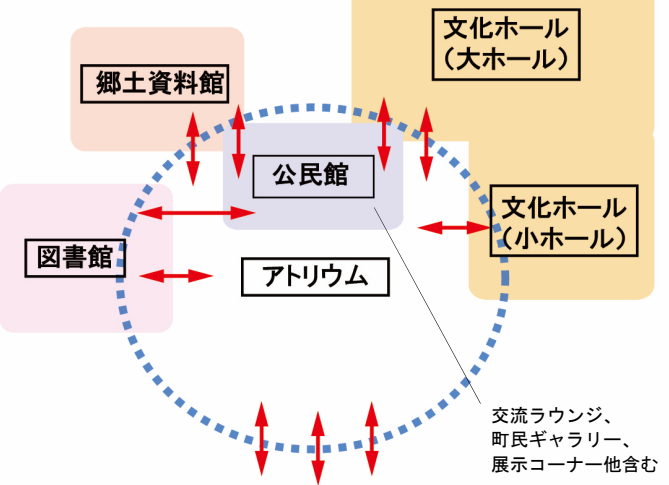
【空間の機能イメージ】

- 活動（交流）空間「集い・創造・発信」： 公民館（生涯学習センター）アトリウム
- 機能（教養）空間「知・育み」： 図書館・郷土資料館・文化ホール

■空間構成

- 町民の自由な発想で使い方が広がる空間構成。専門性の高い「機能空間」と汎用性のある「活動空間」で構成する
- 「アトリウム」に「集い・創造・発信」の活動が反映して、建物全体が生涯教育空間となる
- 活動空間（公民館）は交流の拠点となり、町民が集う大空間「アトリウム」の中に設けることにより、「交流の場」としての性質を強める。3つの機能空間（文化ホール・図書館・郷土資料館）は「アトリウム」を中心に配置し各施設は間接的につながる
- 各施設間の情報サービスやコミュニケーションを常に循環させる
- 「アトリウム」は視覚的にも開かれた空間として、建物内部の各施設と屋外スペースの融合を行う
- 「アトリウム」では、小規模イベントや音楽会、カフェや軽食を楽しむなど、有意義で魅力的な時間の過ごし方を提案し、施設利用目的以外（近隣者等）の方々にも、新しい交流の場を広げる
- 交流スペース、町民ギャラリー、展示コーナー、学習コーナーは、「アトリウム」内に設ける
- 図書館で企画する各種研修会や、郷土資料館で企画する各種講座や体験創作等の催しは、公民館の研修室や体験交流室で開催するため兼用とする
- 施設共有の事務室等のスペースを設けることで、関係し合う合理的管理が可能となる

空間構成



■施設利用イメージと各エリアの機能構成（1）

○アトリウム

総合窓口

- エントランス付近に配置し、インフォメーション、館内（公民館、郷土資料館）受付とする

交流ラウンジ

- テーブル、イスを設置し、「賑やかな空間→静かな空間」を意識して、利用者の休憩・交流の共存の工夫を図る
- 学習スペースは、使用時間の制限や落ち着いて学習できる場所等に配慮して配置する
- 道の駅のような情報・物販の機能や産直施設との連携コーナーも盛り込むことを検討する
- 間仕切りの少ない開放感のある広場として、イベントや音楽会開催も想定する

町民ギャラリー

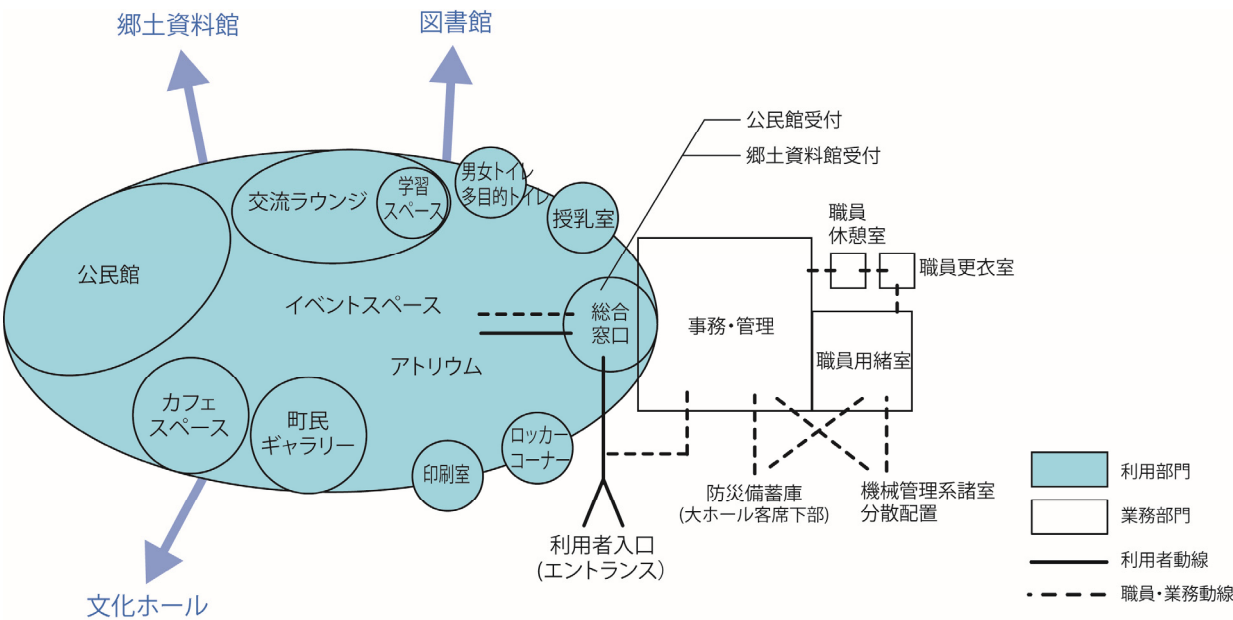
- 町民創作発表の場として展示スペースを設ける
- 公民館の展示用途として兼用する

カフェスペース

- 利用者の休憩、軽食に利用する
- 交流ラウンジと近接配置する

ロッカー、自動販売機、公衆電話コーナー、授乳室、トイレ、印刷室（適宜）

- 利便性に配慮した諸室の配置とする

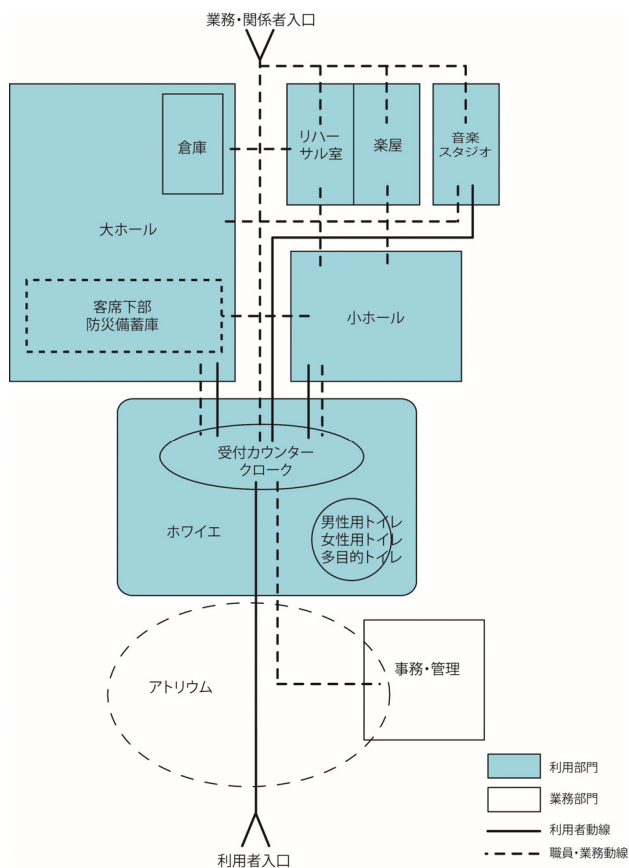


5.施設概略計画の立案（2）

■施設利用イメージと各エリアの機能構成（2）

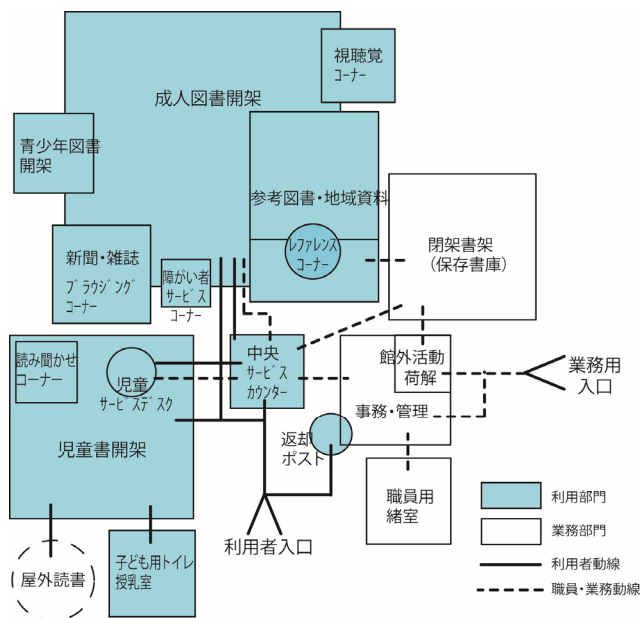
○文化ホール

大ホール（800 席） ・音楽関連の催しを主体とする固定席を採用した大ホール ・コンサート、音楽発表会、文化祭発表、合唱コンクール、PTA 行事、講演会などの開催を可能とする設備を備える ・客席の下部は、防災備蓄庫として利用する
小ホール（300 席） ・可動席を採用した多目的ホールとする ・小規模なコンサート、リハーサル、ダンスホール、講演、美術展 など、多目的に対応する空間設備とする ・災害時は避難場所としての機能を備える
ホワイエ ・大、小ホールの利用者に配慮した配置とする ・待ち時間や、休憩時間に利用可能な個数と広さを備えた専用トイレを整備
音楽スタジオ ・防音・録音の設備を備えた大小二つの音楽スタジオを設け、リハーサルや音楽の練習の場として活用する
楽屋、更衣室、倉庫 ・楽屋（2 部屋）にはシャワー室を完備する ・更衣室は、男女一箇所ずつ設ける
倉庫（ピアノ室） ・大、小各ホールからの利便性に適した位置に配置する
その他 ・搬入口 2 つと、ステージに直結し搬入出が出来る動線を確保する



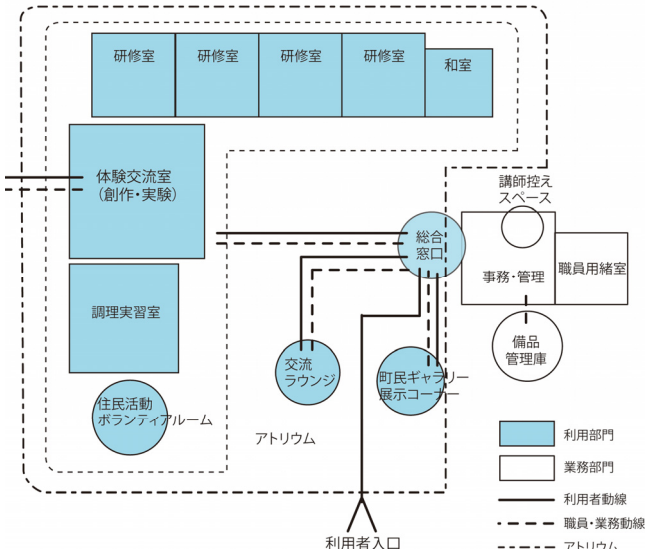
○図書館

中央サービスカウンター ・事務室、書庫に近接し、スタッフの動線の短縮化を図る ・本の貸出、返却サービスのほか、高齢者サービス、多言語サービスを行う	視聴覚コーナー ・視聴覚開架スペース（DVD 等、デジタルアーカイブ） ・視聴コーナー
図書紹介コーナー ・中央サービスカウンターに隣接し、新刊紹介や推薦図書の紹介を行う	閉架書架（書庫） ・中央サービスカウンター、レファレンスコーナーに隣接し、本の保管と修復等を行うスペースも含めて配置する
ブラウジングコーナー ・入口付近に配置し、新聞や雑誌等の軽読書を行う	児童書開架スペース（幼児、児童用開架図書の陳列） ・屋外読書スペースを隣接配置する
障がい者サービスコーナー ・中央サービスカウンターに隣接し、対面朗読等のサービスを行う	読み聞かせコーナー ・児童書開架スペース内に、円形階段状（カーペット敷き）のコーナーを設置する ・お話会、映画上映等の開催も行う多目的スペースとする
成人図書開架（成人図書の陳列） ・書棚の周りにスツール、イス席を配置する ・雰囲気のある落ち着いた読書空間を演出する	野外読書スペース ・児童書開架スペース等に隣接して配置する
青少年図書開架（青少年図書の陳列） ・書棚の周りにスツール、イス席を配置する	授乳室、子ども用トイレ ・児童書開架スペースに隣接して配置する
レファレンスコーナー ・地域資料、郷土資料等を陳列し、調べ物を行えるスペースを確保する ・中央サービスカウンター、書庫に隣接配置とする	



○公民館

研修室 ・防音性に配慮した部屋 1 室、可動間仕切設置で広さを可変できる部屋 3 室を配置する
和室 ・茶道、着付け等、多目的用途に使用できる十分な広さを確保した和室を配置する
体験交流室 ・ワークショップや工作、実験を行える作業テーブル、流し台を完備する ・屋外創作（陶芸、火起こし体験等）も行うため、外部に面して配置する
調理実習室 ・調理講習会等の開催に対応する設備を備える
住民活動ボランティアルーム ・ボランティア団体や NPO 団体の方々の活動、拠点になる空間づくりを行う ・ロッカーを設置する

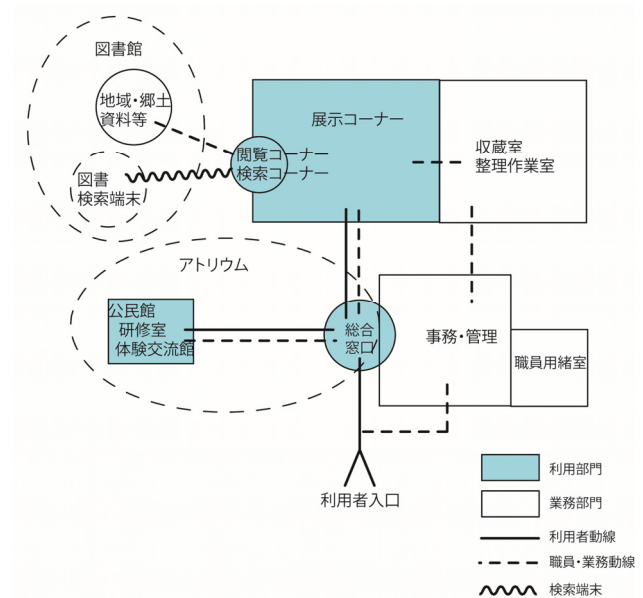


○共用部

事務室 ・図書館事務スペース ・郷土資料館事務スペース ・文化ホール事務スペース ・公民館事務スペース ・職員休憩室 ・職員更衣室 ・応接室、会議室 ・資料保管室	機械電気室 ・設備機器の入替えに対応できる般出入ルートや、増設時のスペースを考慮する。 ・なるべく負荷に近い位置に設ける。
	防災備蓄庫 ・大ホール客席下部を利用する

○郷土資料館

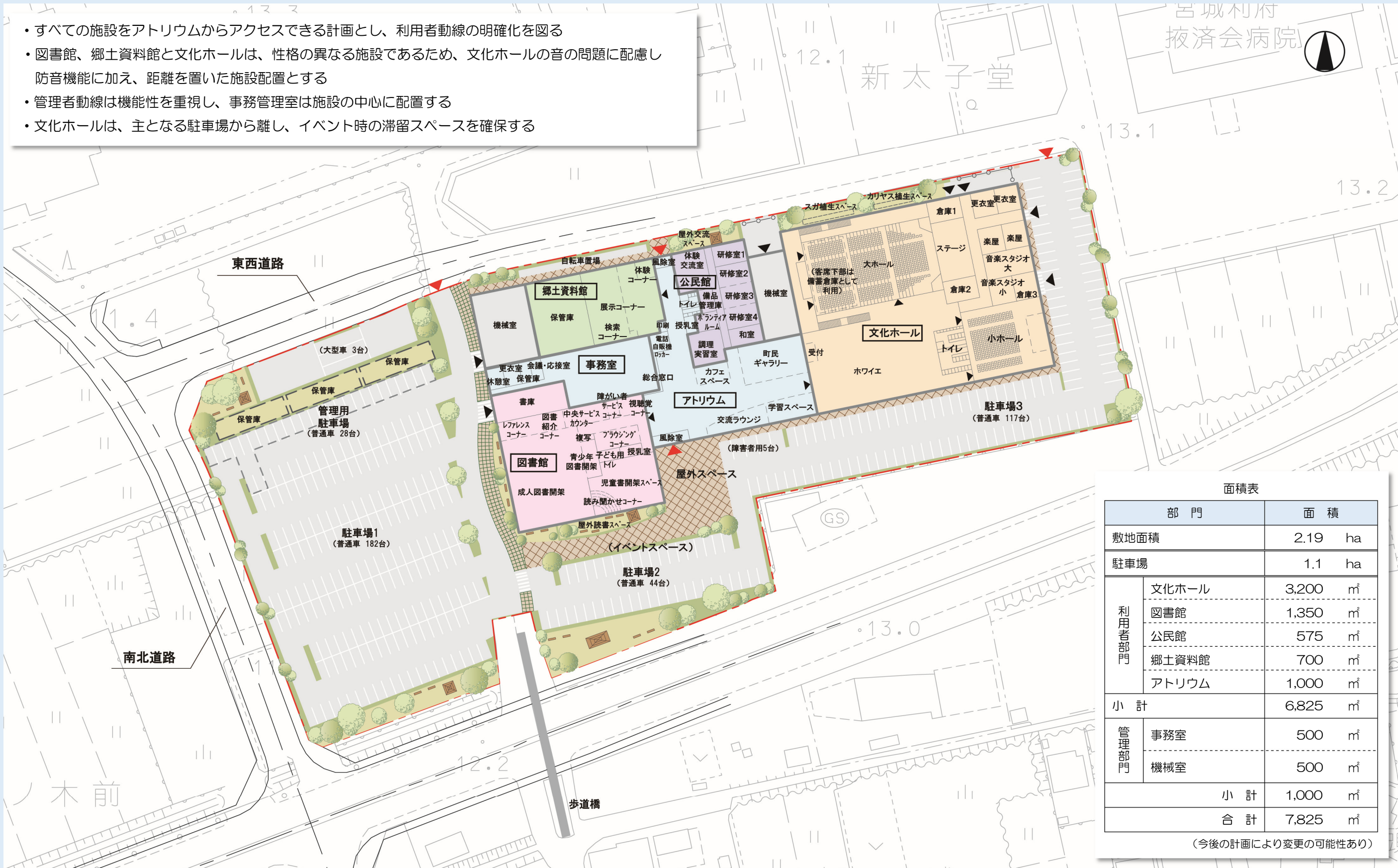
展示コーナー ・常設展示、企画展示、体験コーナー、映像上映コーナーを設ける
検索・閲覧コーナー ・郷土資料館内展示物の検索を行えるほか、図書館の検索端末とも連動し、図書館資料の調べ物にも対応する ・郷土資料、調査報告書等の閲覧が可能。
収蔵・整理作業室 ・収蔵棚の充実を図り、資料の機能的な整理、修復、保管を行う ・室内に作業スペースを設置する



5.施設概略計画の立案(3)

■概略平面計画（施設イメージ図）

- すべての施設をアトリウムからアクセスできる計画とし、利用者動線の明確化を図る
- 図書館、郷土資料館と文化ホールは、性格の異なる施設であるため、文化ホールの音の問題に配慮し防音機能に加え、距離を置いた施設配置とする
- 管理者動線は機能性を重視し、事務管理室は施設の中心に配置する
- 文化ホールは、主となる駐車場から離し、イベント時の滞留スペースを確保する



面積表		
部 門		面 積
敷地面積		2.19 ha
駐車場		1.1 ha
利用 者 部 門	文化ホール	3,200 m ²
	図書館	1,350 m ²
	公民館	575 m ²
	郷土資料館	700 m ²
	アトリウム	1,000 m ²
小 計		6,825 m ²
管 理 部 門	事務室	500 m ²
	機械室	500 m ²
小 計		1,000 m ²
合 計		7,825 m ²

(今後の計画により変更の可能性あり)

5.施設概略計画の立案(4)

■意匠計画（提案例）

○利府らしさの抽出とイメージキーワード

「十符の里と菅薦の記憶」

利府町はかつて、「十符の里」と呼ばれていました。この地では、都に献上するスゲ草を乾燥させて編んだ敷物「菅薦（すがこも）」が作られていました。この敷物は編目が十筋あったことから、この地域は「十符の里」と呼ばれるようになり、都の人々は、果てしないみちのくへの夢と憧れを歌に詠みました。

キーワード “夢” “あこがれ” “やさしさ”



「古代みちのくの重要地・生産地」

森郷地区には、奥州三関のひとつ、勿来の関があったといわれており、春日、赤沼地区では、奈良・平安時代の瓦や須恵器などを製作した窯跡がたくさん見つかっています。また、古代からの黄色の染料の代表であるカリヤス草（別名：黄染草）の産地でもあり染殿神社が祀られています。古代陸奥国政府多賀城を支えた一大生産拠点として歴史的に重要なところです。

キーワード “創造” “親しみ” “味わい深い”



「町のシンボル利府城跡」

伊達政宗の右腕となって大活躍した留守政景は、天正18年に、政宗から黒川大谷保に隠退を命ぜられるまでの約20年間、この城を本拠地としました。今は、春には桜が咲き誇る憩いの場「館山公園」として親しまれています。

キーワード “活力” “魅力” “快適” やすらぎ



「暮らしの交差点・新しさを発信するホームベース」

かつての伊達藩六十二万石の城下町、中枢都市、東北の政治・経済・文化の中心であった仙台市をバックアップする町が利府町です。かつての街道の宿駅。仙台北方への交通の要衝。今は、仙台都市圏の新興のホームタウンとして常に新しい息吹にあふれています。

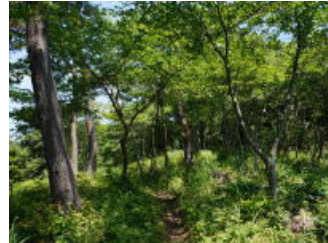
キーワード “新しさ” “進歩的” “本格的” “交わり”



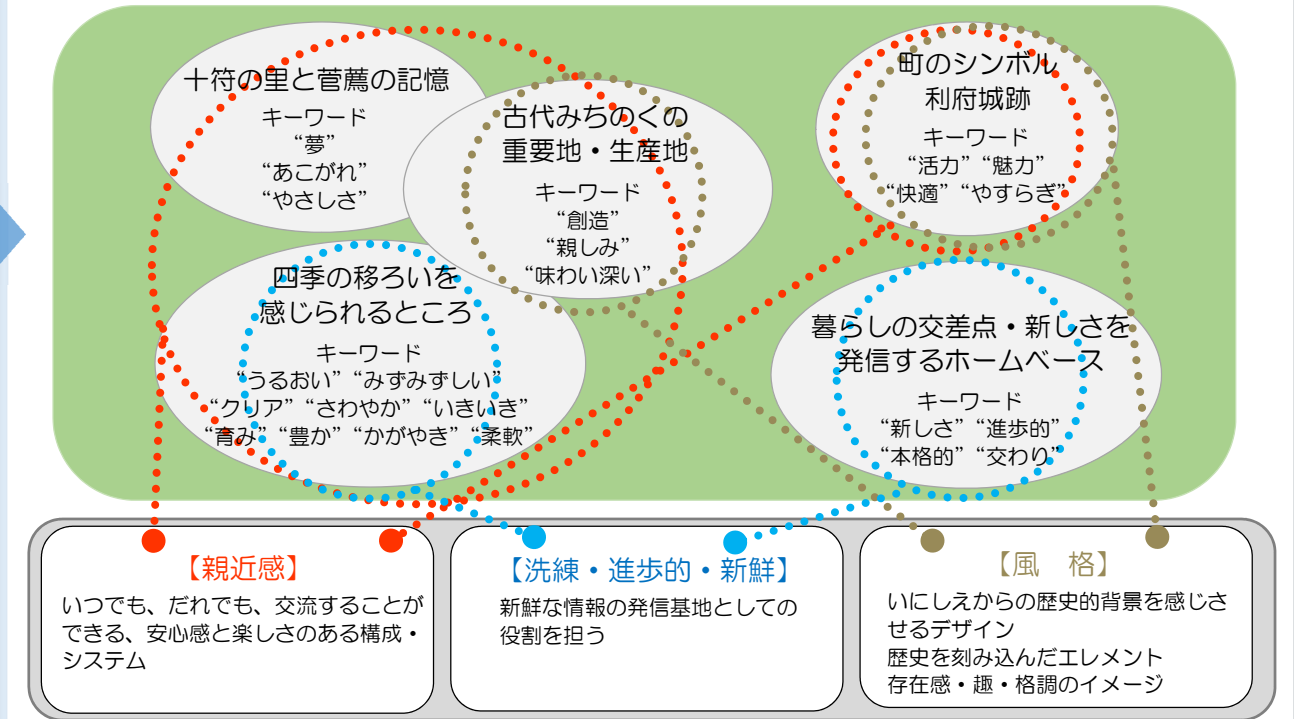
「四季の移ろいを感じられるところ」

利府梨は春には白い花、秋には梨畑にみずみずしくたわわに実ります。肥沃な耕地が広がっている利府の大地は、「梨」に代表される自然の恵みにあふれています。季節が変わるごとに、花の色、新緑の色、実りの色、冬景色の色へと移ろいます。

キーワード “うるおい” “みずみずしい” “クリア” “さわやか” “いきいき” “育み” “豊か” “かがやき” “柔軟”



○施設デザインコンセプト（例）



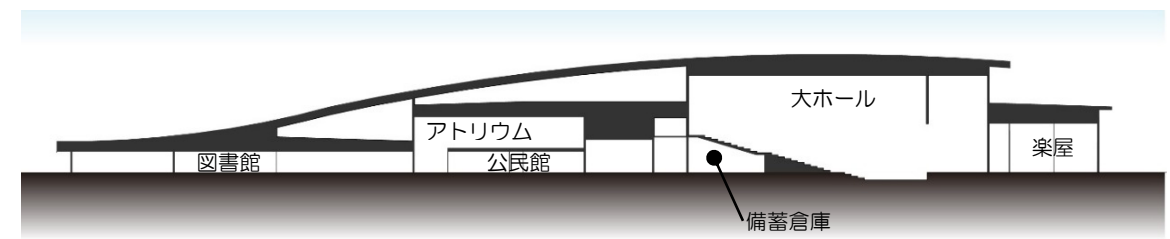
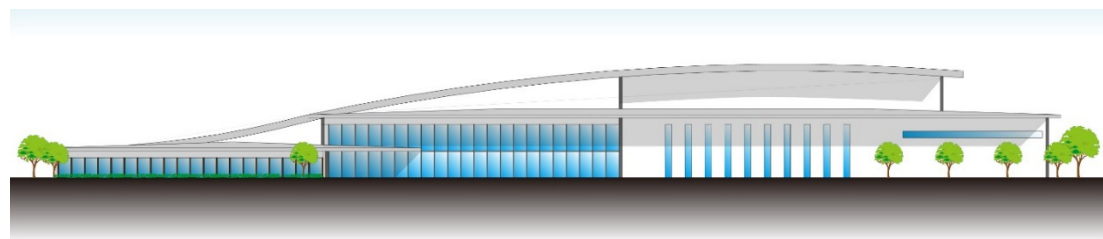
“北緯 38 度 10 分 東経 140 度 52 分”
いにしえの香りとあたらしい息吹が交差する時空地点
いつでも だれでも 感動・喜び・発見に出会える交流基地

○施設デザインコンセプト要素（例）

- ・大屋根：大屋根は多様な価値観の町民がひとつのコミュニティで快適な都市生活を営む空間
- ・瓦や木素材：地域の歴史文化の伝承と地域への愛着の育みのために地域らしい素材使用
- ・曲面壁：東西に長い配置のため連続する壁面に変化を与える、沿って歩きやすい壁
- ・低く深い軒：周辺の丘陵景観に配慮
- ・低層形状：近隣施設・館山からの眺望に配慮
- ・スゲ草やカリヤス草の栽培親水スペース、壁面緑化等：潤いの演出
- ・遊歩道：地域とのつながりを意識した利府街道からのアプローチと開口部
- ・季節・時間の変化を感じられる内部空間：カーテンウォール、トップライト
- ・駐車スペースへの誘導：沿道の渋滞を緩和する安全に配慮したサイン誘導
- ・開放的なランドスケープ：町民に開かれた吸引力空間と出会い発見のある交流空間

○施設イメージ図

（立面図・断面図）



5.施設概略計画の立案（5）

■設備計画の検討	
○電気設備	
[高圧引込設備]	
受電は、東北電力配電線路より、三相3線式、6.6kV、50Hz、1回線受電とする	
[受変電設備]	
電力会社より受けた高圧電力を電灯用、動力用などに変圧して低圧電力を供給する	
[自家発電機設備]	
商用電源が停電した場合に、防災機能を維持するため必要な電源を確保できるように、自家発電機を設置する	
[幹線動力設備]	
建築設備への電源供給と操作・監視・制御に伴う配線及び動力制御盤の設置を行う	
[電灯コンセント設備]	
建築における照明計画は、意匠的にも重要であり、省エネに配慮しつつ各室の用途及び使用目的に合った照明方式、器具選定、器具配置する。また、防犯対策及び駐車場の必要照度の確保の為、外灯を合わせて計画する	
[通信・情報設備]	
障がい者、高齢者はもとより、誰もが安心して利用できるようなわかりやすい設備を計画するとともに、情報化社会や将来変化へのフレキシブルな対応が可能な計画する	
[防犯設備]	
施設利用状況監視用、防犯対策として防犯カメラを設置し、事務室にＩＴＶモニター収録装置を設置する。また休日、夜間の防犯対策として警備会社による防犯設備の委託導入が可能な設備計画とする	
[舞台照明設備]	
音楽ホールとして各種コンサート、演劇、発表会等、多種多様な催物に幅広く対応できるものとし、かつ舞台音響と連携を図るものとする	
○機械設備	
[空気調和設備]	
・熱源設備	
熱源方式は中央式、分散式を空調ゾーニングの機能に対応し、ベストミックスした熱源供給システムとし、保守管理の省力化、経済性に重きを置いて計画する	
[給排水衛生設備]	
・給水設備	
生活用水として利府町給水本管より引き込み、受水槽に一旦貯水し、給水加圧ポンプユニットにて、必要箇所に供給する	
・給湯設備	
給湯箇所は限定されているため、局所給湯方式とする	
・排水設備	
自然流下による排水計画とする。屋内の汚水・雑排水は公共下水道へ流入させ、屋外の雨水は水路へ放流する	
・衛生器具設備	
便器洗浄に雨水を利用する等の節水に配慮した計画とし、障害者、高齢者はもとより誰もが利用し易い多目的トイレを設置する	
多目的トイレは、オストメイト対応の設備とする	
○防災設備	
[電力の確保（太陽光発電パネル、自家発電設備、蓄電池等）]	
自家発電設備の容量、連続運転可能時間、燃料備蓄容量など必要な電力設備計画を行う	
[通信機能の確保]	
複数の引き込み管路を設けるなど、将来的な通信機能への対応を図る	
[給水機能の確保（耐震性貯水槽、雨水利用等）]	
・災害活動に必要な給水計画について検討を行う	
・雨水利用設備又は2系統給水など、代替手段の確保の検討を行う	
[排水機能の確保（非常用便所等）]	
・災害活動に必要な排水について検討を行う	
・排水機能確保に必要な耐震措置の検討を行う	

6.概算工事費の算出

現計画において、仕上げ等については確定していないため、同種物件の事例より単価等を参考にして概算工事費を算出する。今後、基本設計など詳細な検討を行い、概算工事費の精査や、補助金（都市再生整備計画事業）の活用も視野に入れながら、事業費縮減に努める。

区 分		数 量	概算工事費	備 考
土地取得費		2.19ha	328,500 千円	
土地造成費		2.19ha	438,000 千円	20 千円/㎡ 類似事例より想定
建設費	文化ホール	3,200 ㎡	1,600,000 千円	500 千円/㎡
	図書館	1,350 ㎡	607,500 千円	450 千円/㎡
	公民館	575 ㎡	258,750 千円	450 千円/㎡
	郷土資料館	700 ㎡	315,000 千円	450 千円/㎡
	アトリウム	1,000 ㎡	450,000 千円	450 千円/㎡
	事務室等	1,000 ㎡	450,000 千円	450 千円/㎡
	合 計	7,825 ㎡	3,681,250 千円	
建築設備			360,000 千円	座席、音響設備
施設整備合計			4,807,750 千円	
道路整備費			210,000 千円	用地取得費含む
地下埋設管補強等			60,000 千円	導水管補強、ガス管移設
事業費合計			5,077,750 千円	

利府町文化複合施設整備計画

平成 26 年（2014 年）9 月

— 編 集 —

宮城県利府町企画課政策班

〒981-0112 宮城県宮城郡利府町利府字新並松4番地

電話：022-767-2115 FAX：022-767-2100

Eメール：seisaku@rifu-cho.com

URL: <http://www.town.rifu.miyagi.jp/>